

## 新技術・新製品・新事業特集号の発刊にあたって

技術開発本部

副本部長

張

惟 敦

「女子高校生が学校帰りに回転寿司店に行っているらしい。」ということを知り、初めて聞いたとき、高校の体育会系部活動で体力を消耗し、あまりの空腹のため帰宅途中に、回転寿司店で寿司をモリモリと食べている光景が思い浮かびました。ところが、真相は回転寿司店でスイーツを食べているとのこと。なぜかと思っ、いろいろと聞いてみると、回転寿司店はデザート類やスイーツ類が豊富、かつ手ごろな価格で食べることができ、学校帰りに友人同士でおしゃべりしながら過ごすには快適な環境のようです。回転寿司店でスイーツを食べている女子高校生の光景がすぐに頭に浮かばないのは、おそらく私だけではないと思います。



女子高校生が帰宅途中の時間帯は回転寿司店にとって中途半端な時間帯なのですが、この時間帯に寿司ではなく、デザート類やスイーツ類を売るという商売の仕方は、一種の新事業かもしれません。ただ、回転寿司店が最初から女子高校生を顧客ターゲットに、意図してデザート類やスイーツ類を豊富にしたのかどうかは分かりません。おそらくですが、女子高校生というユーザーが生み出したイノベーションではないかと考えています。当初は、思いも寄らなかった使われ方を感じたのではないのでしょうか。無意識のうちに一種のイノベーションを興している女子高校生、恐るべし。また、女子高校生がスイーツ類を選んで食べている光景を見過ごしたりせずに、新規の女子高校生向けレシピを開拓しているとしたら、回転寿司店に拍手を送りたいと思います。

例年、第1号は「新技術・新製品・新事業特集号」と題してお届けしています。先の例は消費財でB to Cビジネスに関するものです。一方、IHIグループは生産財を取り扱っており、かつB to Bビジネスが主体であるため、先の例にみるようなイノベーションを期待するのは難しいのかもしれませんが、お客さまとの対話をとおして少しでもイノベーションを興していけたらよいと考えています。本号では、我々が考えている新技術、新製品、新事業を特集しました。読者の皆さんにはぜひ手に取って興味のある記事に目をとおしていただき、我々が考えていることに対し、ユーザーの観点からどのように感じるのか、忌憚<sup>たん</sup>のない意見を多数寄せていただければ幸いです。それらの意見から、必ずや次のイノベーションのきっかけが生まれるものと信じています。